

製鉄記念室蘭病院小児科に入院された方へ

北海道小児感染症サーベイランス
Hokkaido Pediatric Infectious Diseases Surveillance (HPIDS)

へ御協力をお願い

1. 研究の目的

定期接種されている麻疹・風疹・水痘の入院数、定期接種に組み込まれていない流行性耳下腺炎の入院数、髄膜炎、脳炎・脳症や重症肺炎などの重篤な感染症の入院数を全道的に把握することを目的とした疫学調査です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019年7月1日から2030年12月31日までの間に当院小児科において、流行性感染症（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、マイコプラズマ、アデノウイルス、ロタウイルス、ノロウイルス、その他の胃腸炎）、中枢神経感染症（細菌性および無菌性髄膜炎、脳炎・脳症、熱性けいれん重積、胃腸炎関連けいれん、ADEM（急性散在性脳脊髄炎）、MS（多発性硬化症）、ギラン・バレー症候群）、呼吸器感染症（下気道炎：気管支炎・肺炎）、その他（血球貪食症候群、溶血性尿毒症症候群、尿路感染症、菌血症、川崎病、生後6ヶ月以下の発熱）に罹患し入院された0歳～15歳までの方が研究対象です。

2) 研究期間

病院長承認日～2031年3月31日

3) 研究方法

調査票を用いて上記の感染症関連疾患で入院となった方の全数調査を毎週集計し、発生動向の解析を行います。最終的には、現行の感染症発生動向調査との比較検討を行い、今後のサーベイランスシステムの方向性を検討します。

4) 使用するカルテ情報（研究は匿名化された調査票を用いて行います。）

施設名、年齢、性別、合併症等

5) 研究に関する問い合わせ等 あなたを特定できる情報は、すでに削除されて研究のためのデータが作成されているので、研究についてお問い合わせにお答えする事は可能ですが、あなたのデータを削除する事ができません。あなたが誰であるかわからない形にして、研究者の集まる学会での発表や、学術論文で公表をしますので、ご了解ください。

<問い合わせ・連絡先>

担当者
製鉄記念室蘭病院 小児科：斉藤 淳人
TEL：0143-44-4650

